

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

印刷工場における印刷乾燥設備の高効率化による
省エネルギー事業（方法論 035）

排出削減事業者名：株式会社フジコー

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社フジコー
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	株式会社フジコー まんのう工場
住所	〒769-0312 香川県仲多度郡まんのう町宮田 1018-8
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

印刷工場における印刷乾燥設備の高効率化による省エネルギー事業（方法論 035）

2.2 排出削減事業の目的

既存印刷乾燥機を改善することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

印刷工場における印刷乾燥機の排気を全部または一部排気循環させることにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年3月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2018年2月28日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
035	乾燥設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
ベースラインエネルギー使用量	生産量 (km)	エネルギー資料量 (MJ)
		生産量 (km)

4.2.2 活動量の採用根拠

エネルギーの供給量は製品（印刷物）の幅には関係なく、長さのみに比例するため、製品の長さを活動量として採用した。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業の範囲はボイラから蒸気の供給を受ける3色グラビア印刷乾燥機及び10色グラビア印刷乾燥機のみ。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料の使用量	kL	2013年度：408.5 2014年度：463.5 2015年度：465.5 2016年度：452.0 2017年度：428.0	燃料供給会社からの請求書 を元に算定	変更なし
GB	事業実施前エネルギー原 単位	MJ/km	241	生産量実績（月報）および 重油使用量実績により算出	変更なし
GP	事業実施後エネルギー原 単位	MJ/km	2013年度：131 2014年度：134 2015年度：137 2016年度：139 2017年度：141	生産量実績（月報）および 重油使用量実績により算出	変更なし
$HV_{fuel,BL}$	事業実施前後燃料の単位 発熱量	GJ/ kL	2013年度～2017年度：38.9	デフォルト値（高位発熱量）	変更なし
α	施設改善係数	GP/GB	2013年度：0.5449 2014年度：0.5562 2015年度：0.5689 2016年度：0.5751 2017年度：0.5841	GB、GPより算出	変更なし
$CF_{fuel,BL}$	燃料の単位発熱量あたり の排出係数	t-CO ₂ /GJ	2013年度～2017年度： 0.0708	デフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	408.5	38.9	0.0708	1,125.1
2014 年度	463.5	38.9	0.0708	1,276.5
2015 年度	465.5	38.9	0.0708	1,282.0
2016 年度	452.0	38.9	0.0708	1,244.9
2017 年度	428.0	38.9	0.0708	1,178.8
単位	kL	GJ/kL	tCO2/GJ	tCO2
EM _{PJ}				6,107.3

6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	29,163.7	—	0.0708	2,064.8
2014 年度	32,418.7	—	0.0708	2,295.2
2015 年度	31,832.2	—	0.0708	2,253.7
2016 年度	30,570.9	—	0.0708	2,164.4
2017 年度	28,504.1	—	0.0708	2,018.1
単位	GJ	—	tCO2/GJ	tCO2
EM _{BL}				10,796.3

6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
LE				0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	10,796.3
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	6,107.3
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	4,689

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績 ②	ベースライン －実績 ①－②
3,954.5	2,237.0	1,717.5

省エネルギー量（原油換算）＝3,954.5－2,237.0＝1,717.5 (kl)

省エネルギー量（熱量換算）＝153,273.6－86,704.3＝66,569.3 (GJ)

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
		(実績)	(実績)	(実績)